

OPEN CAMPUS 2026

新潟大学 工学部

オープンキャンパス2026

2026/8/6 木・8/7 金

- 機械システム工学プログラム
- 社会基盤工学プログラム
- 電子情報通信プログラム
- 知能情報システムプログラム
- 化学システム工学プログラム
- 材料科学プログラム
- 建築学プログラム
- 人間支援感性科学プログラム
- 協創経営プログラム
- 附属工学力教育センター



真の強さを学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

ご来場のみなさまへ

【お困りの際は 一体調不良・落としものなどー】

お困りの際は、お近くの係員にお申し出いただくか、工学部学務係窓口（A 棟 1 階）または受付（学生玄関）までお越しください。主に以下の対応をしております。

- 落としもの・拾得物に関する対応
- ケガ・体調不良に関する対応

【非常時について】

- ケガ人や事故が発生した際は、お近くの係員に伝える、もしくは工学部学務係窓口（A 棟 1 階）、受付（学生玄関）へお越しください。
- 災害（大地震、火災等）が発生した場合には、係員の指示や放送案内に従い、行動してください。

【連絡先】

新潟大学工学部学務係
025-262-6709・6798

工学部オープンキャンパス 2026 参加者アンケート

＊回答いただいた方、各回先着 100 人にオリジナルグッズプレゼント＊

来年度以降のオープンキャンパス企画内容を検討する際の参考資料とさせていただきますので、右二次元コードよりアンケート回答へのご協力をお願いします。

受付（学生玄関）の係員にアンケート回答終了画面をご提示いただいた方、各回先着 100 人に新潟大学工学部オリジナルグッズをプレゼントします。

【オリジナルグッズ引換時間】

（午前） 11:00～12:00 （午後） 15:00～16:30



OPEN CAMPUS CONTENTS

1.	タイムスケジュール	1
2.	模擬講義テーマ紹介	3
3.	学位プログラム等の紹介	
	力 学 分 野	
	① 機械システム工学プログラム	5
	② 社会基盤工学プログラム	6
	情 報 電 子 分 野	
	③ 電子情報通信プログラム	7
	④ 知能情報システムプログラム	8
	化 学 材 料 分 野	
	⑤ 化学システム工学プログラム	9
	⑥ 材料科学プログラム	10
	建 築 分 野	
	⑦ 建築学プログラム	11
	融 合 領 域 分 野	
	⑧ 人間支援感性科学プログラム	12
	⑨ 協創経営プログラム	13
	附 属 セ ン タ ー	
	⑩ 工学力教育センター	14
4.	その他	
	工学部パンフレット	15
	入試情報	15
	動画で見る新潟大学工学部	15

新潟大学工学部 オープンキャンパス2026 タイムスケジュール

AM

午前の部

		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00
工学部共通			全体説明会 10:00～10:30 【101講義室, 103講義室（中継）】	模擬講義 10:40～11:00 【101講義室】 模擬講義の詳細は次ページ（p. 3-4）をCheck！！ 工学部何でも相談コーナー 10:50～12:00【小会議室】 【工学部何でも相談コーナー】 入学選抜制度、工学部の特色、学生生活、卒業後の進路など、 相談したい事項がありましたら、お気軽にお立ち寄りください。	模擬講義 11:10～11:30 【101講義室】	模擬講義 11:40～12:00 【101講義室】
力学分野	機械システム工学プログラム ＜p. 5＞			機械システム工学プログラムブース 10:30～12:00【105講義室】 教えて！機械のセンパイ 10:30～12:00【C棟1階 リフレッシュスペース】 研究室見学ツアー 11:00～12:00 【集合場所 105講義室前】※先着10名		
	社会基盤工学プログラム ＜p. 6＞			社会基盤工学プログラムブース 10:30～12:00【212講義室】		
情報電子分野	電子情報通信プログラム ＜p. 7＞			研究室紹介コーナー 10:30～12:00【203講義室】 高温超電導公開実験（午前の部） 10:30～12:00【203講義室】		
	知能情報システムプログラム ＜p. 8＞			知能情報システムプログラムブース 10:30～12:00【204講義室】 情報ワールドへようこそ！ 10:30～12:00【205講義室】 聞く、体験する、知能情報 10:30～12:00【213講義室】		
化学材料分野	化学システム工学プログラム ＜p. 9＞			化学システム工学プログラムブース 10:30～12:00【206講義室】		
	材料科学プログラム ＜p. 10＞			材料科学プログラムブース 10:30～12:00【209講義室】		
建築分野	建築学プログラム ＜p. 11＞			建築学プログラムブース 10:30～12:00【201講義室】 ドライミスト噴霧 10:30～12:00【学生玄関前】 建築製図室 ・建築構造実験室見学ツアー 10:30～11:00 【集合場所 201講義室前】		
融合領域分野	人間支援感性科学プログラム ＜p. 12＞			人間支援感性科学プログラムブース 10:30～12:00【211講義室】		
	協創経営プログラム ＜p. 13＞			協創経営プログラムブース 10:30～12:00【208講義室】		
工学力教育センター ＜p. 14＞				ものづくりプロジェクト紹介展示 10:30～12:00【学生玄関ホール】 ものづくりプロジェクト製作品展示・操作体験 10:30～12:00【102講義室】 1年生から研活 スマート・ドミトリー研究紹介 10:30～12:00【202講義室】		

* イベント内容の詳細は、各学位プログラムページをご覧ください。
 * 各イベントの開催場所は裏表紙に記載の「フロアマップ」をご覧ください。

PM

午後の部

		13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
工学部共通			全体説明会 13:30~14:00 【101講義室, 103講義室（中継）】	模擬講義 14:10~14:30 【101講義室】 模擬講義の詳細は次ページ（p. 3-4）をCheck！！	模擬講義 14:40~15:00 【101講義室】 工学部何でも相談コーナー 14:30~16:00【小会議室】 【工学部何でも相談コーナー】 入学者選抜制度、工学部の特色、学生生活、卒業後の進路など、相談したい事項がありましたら、お気軽にお立ち寄りください。 【8/6（木）】 【女子中高生限定】 先輩にさく！体験できる！アンバサダーと体感する工学のミリョク 14:30~16:00【103講義室】 【8/7（金）】 探究がもっと面白くなる！大学生と語る未来の研究 — あなたの探究学習をブラッシュアップしよう！ — 14:30~16:00【103講義室】		
力学分野	機械システム工学プログラム 〈p. 5〉			機械システム工学プログラムブース 14:00~16:00【105講義室】 教えて！機械のセンパイ 14:00~16:00【C棟1階 リフレッシュスペース】 研究室見学ツアー 15:00~16:00 【集合場所 105講義室前】※先着10名 ものづくり体験コーナー 14:00~16:00【107講義室】※先着20名			
	社会基盤工学プログラム 〈p. 6〉			社会基盤工学プログラムブース 14:00~16:00【212講義室】			
情報電子分野	電子情報通信プログラム 〈p. 7〉			研究室紹介コーナー 14:00~16:00【203講義室】 高温超電導公開実験（午後の部） 14:00~16:00【203講義室】			
	知能情報システムプログラム 〈p. 8〉			知能情報システムプログラムブース 14:00~16:00【204講義室】 情報ワールドへようこそ！ 14:00~16:00【205講義室】 聞く、体験する、知能情報 14:00~16:00【213講義室】			
化学材料分野	化学システム工学プログラム 〈p. 9〉			化学システム工学プログラムブース 14:00~16:00【206講義室】			
	材料科学プログラム 〈p. 10〉			材料科学プログラムブース 14:00~16:00【209講義室】			
建築分野	建築学プログラム 〈p. 11〉			建築学プログラムブース 14:00~16:00【201講義室】 ドライミスト噴霧 14:00~16:00【学生玄関前】 建築製図室 ・建築構造実験室見学ツアー 14:00~14:30（一日目） 15:20~15:50（二日目） 【集合場所 201講義室前】			
融合領域分野	人間支援感性科学プログラム 〈p. 12〉			人間支援感性科学プログラムブース 14:00~16:00【211講義室】 ミニコンサート 15:10~15:40 【101講義室】			
	協創経営プログラム 〈p. 13〉			協創経営プログラムブース 14:00~16:00【208講義室】			
工学力教育センター 〈p. 14〉				ものづくりプロジェクト紹介展示 14:00~16:00【学生玄関ホール】 ものづくりプロジェクト製作品展示・操作体験 14:00~16:00【102講義室】 1年生から研活 スマート・ドミトリー研究紹介 14:00~16:00【202講義室】			

模擬講義 テーマ紹介 —8月6日(木)—

※ 開始時間までに 101 講義室にお入りください。

10:40~11:00 ①機械システム工学プログラム 松原 幸治 教授

エンジンの仕組みと発展

自動車や航空機で使われているエンジンには、どのような種類や仕組みがあるのでしょうか。本講義では、ガソリン、ディーゼル、ジェットエンジンの違いや、熱を「動力(仕事)」に変える基本原理を分かりやすく解説します。さらに、未来の地球を守る「水素」や「合成燃料」といった次世代の燃料技術も紹介し、これからのモビリティの可能性について一緒に考えます。



11:10~11:30 ⑩工学力教育センター 佐々木 朋裕 教授

1 年生からはじめる研究・ものづくり活動

新潟大学工学部では、普段の専門分野の授業とは別に、大学1年生から研究・開発に取り組む特別な授業科目を開講しています。ここでは、1年生から3年生までの学年、専門分野の枠を超えたチームを結成して、研究や産業機器の開発、さらには、学生フォーミュラやロボコンなど競技大会を目指した活動をしています。模擬講義では、様々な大会で活躍する学生たちの取り組みを紹介します。



11:40~12:00 ⑧人間支援感性科学プログラム 棚橋 重仁 助教

人間情報学から考えるデジタル社会

AI の発展によりデジタル技術やデータを活用した DX が加速する現在、人間中心の DX を考えることが重要になっています。人間情報学は、人間の心理・生理・行動のデータを情報科学や AI、人間工学の手法から解析・モデル化し、様々な社会課題を解決する学際的な学問分野です。本講義では、医療、看護、都市計画、教育を題材に、人間中心の DX が現場の理解、設計、支援にどのように応用できるかを事例から考えます。



14:10~14:30 ④知能情報システムプログラム 齋藤 裕 特任准教授

文章を計算する技術:テキストデータ解析のしくみ

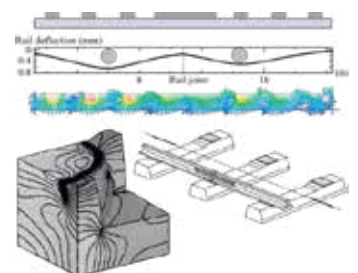
検索エンジン、翻訳、対話 AI など、文章(テキストデータ)を扱うソフトウェアやアプリケーションは、私たちの身近なところで広く使われています。本講義では、デモを交えながら、コンピュータが文章を計算できる形に変換する基本的な考え方を紹介し、分類、言い換え、対話といった機能がどのような仕組みをもとに実現されているのかを解説します。身近な情報処理の裏側を一緒に見てみましょう。



14:40~15:00 ②社会基盤工学プログラム 紅露 一寛 教授

社会インフラの高度化における応用力学の役割

社会基盤構造物は、自然科学の最先端の研究者によって作り上げられた力学理論に基づいて設計されています。今日では計算機の積極的な活用を前提として、より高度な物理モデルの開発や、人工知能の活用も盛んに試みられています。模擬講義では、最先端の研究成果を紹介しながら、私たちの暮らしを支える社会インフラの高度化における応用力学の役割について、皆さんと一緒に考えたいと思います。



模擬講義 テーマ紹介 ―8月7日(金)―

※ 開始時間までに 101 講義室にお入りください。

10:40～11:00 ⑤化学システム工学プログラム 三上 貴司 准教授

化学工学～巨大化学プラント群による大規模物質生産技術

化学工場には反応装置や蒸留塔など、化学プラントと呼ばれる大規模な生産設備が配備されています。これから化学プラントを建設しようとするとき、その大きさ(装置容積や塔高)はどのくらいが適切でしょうか。数字で答えなくてはなりません。適切な数字をはじき出すための、合理的な推算式を教えてくれる学問が化学工学です。模擬講義では、高校数学で化学プラントの大きさを決定できることを説明します。



11:10～11:30 ⑨協創経営プログラム 尾田 雅文 教授

工学 + マネジメント = 効果的なプロジェクト運営

リニア新幹線整備や宇宙ロケット開発等、世の中の注目を集める大型プロジェクトから社内業務改善を目的とした小規模プロジェクトに至るまで、数多くのプロジェクトが存在します。いずれのプロジェクトでも、効果・効率的で、かつ、成功確率を高めるため、その運営には、工学とマネジメントの双方の知識が必要です。どのように知識が活用されるかを、皆さんの日常生活を題材とした例に基づいて紹介します。



11:40～12:00 ③電子情報通信プログラム 福井 聡 教授

超伝導技術で拓くカーボンニュートラル社会

カーボンニュートラルの達成や安心・安全・レジリエントな社会システムの実現に向け、近未来の電気エネルギーシステムには、高効率・高信頼・環境調和性を同時に実現できるイノベーションが求められています。超伝導のメリットを存分に活用できれば、これらの社会的要請に応えられるイノベーションが期待できます。講義では、カーボンニュートラルに貢献できる超伝導技術について平易に説明します。



14:10～14:30 ⑥材料科学プログラム 大木 基史 准教授

新材料開発と材料強度特性評価、どちらも大事！

材料科学プログラムにおいては、様々な新材料開発に関する研究とともに、材料物性・材料特性評価に関する研究も多く行われています。特に材料の強度特性評価は、材料の信頼性を保証し、事故やトラブルによって財産や人命が失われることを防ぐ観点から極めて重要です。本講義では、先進構造材料の開発状況、および材料の強度特性評価の意義についてお話しします。



疲労現象による金属の破壊

14:40～15:00 ⑦建築学プログラム 中村 孝也 教授

地震と建築

建築学には計画、環境・設備、構造など様々な分野があります。本講義ではそのうちの建築材料・構造分野について地震と建築の観点からお話しします。過去に国内外で発生した大地震では多くの建築物が破壊され、甚大な被害がたびたび発生しました。そこで、地震が起きるとなぜ建築物が壊れるのかを解説し、将来大地震が発生したときの被害を防止するために取り組んでいる研究事例などを紹介します。



鉄筋コンクリート柱の破壊実験

①機械システム工学プログラム



機械システム工学は、物の形を考え、作り上げるための知識と経験を基にした学問分野です。普段の生活でも馴染み深い自動車や冷蔵庫、スマートフォンなどは、機械システム工学の応用製品です。他にも、航空機やロボット、医療機器などにも使われています。卒業生の多くは、これらを作るエンジニアや、新しい技術を開発する研究者として働いています。

○模擬講義

「エンジンの仕組みと発展」

自動車や航空機で使われているエンジンには、どのような種類や仕組みがあるのでしょうか。本講義では、ガソリン、ディーゼル、ジェットエンジンの違いや、熱を「動く力（仕事）」に変える基本原理を分かりやすく解説します。さらに、未来の地球を守る「水素」や「合成燃料」といった次世代の燃料技術も紹介し、これからのモビリティの可能性について一緒に考えます。



超小型ジェットエンジンの開発

○研究紹介・展示ブース

当プログラムのブースでは体験型の展示やポスターなどにより機械システムの研究を楽しみながら知ることができます。私たちは、流体工学、マイクロマシン(MEMS)、バイオメカニクス、可視化情報工学、熱工学、ロボティクスなど様々な分野において最先

端の研究に取り組んでいます。最先端の研究を是非体験してください。



当プログラムの特徴的な研究分野

○ものづくり体験コーナー

(各日午後 先着 20 名)

ソーラーパネルを用いて、簡単なソーラーカーを製作します。「ものづくり」の世界を体験してみましょう!完成したら全員でレースも行います。



ソーラーカーの競争
微妙なセッティングで差が出る?

○教えて! 機械のセンパイ

当プログラムで学んでいる先輩に、講義、研究、課外活動、学生生活など、大学のことをなんでも聞いてみよう。ぜひ気軽にお越しください!

○研究室見学ツアー

(各日午前・午後 先着 10 名程度)

機械システムに関する最先端の研究が行われている研究室を実際に訪れ、いろんな実験装置を直接見るすることができます。

②社会基盤工学プログラム



萬代橋：
新潟市のシンボル、重要文化財

■社会基盤工学プログラムの概要

ーまちづくりと防災の知識・技術を学ぶー

安全で快適な私たちの「暮らし」を支える、道路や鉄道、橋やトンネル、堤防やダム、堰や放水路、港・空港、上下水道、公園などの社会基盤施設とそのネットワークを、計画・調査・設計・建設・維持管理し、国や各地域、および海外も舞台に「まちづくり・地域づくり」や「防災」に携わるための専門知識や技術を学びます。

多くの卒業生が「土木技術者」として、国や都道府県・市町村、建設会社、建設コンサルタント、鉄道会社、電力会社などの職場で、自然災害から生命と財産を守る仕事や、ライフラインの整備・維持、交通・物流のための施設整備・政策立案、地域づくり・まちづくり、製造業や農林水産業などの生産基盤整備の仕事に従事しています。

■プログラムの特色ある教育

2年生の「社会基盤設計基礎」は、新潟市内に架かる実際の橋の諸元や利用状況を調査し、その架け替えを想定して新たな橋のデザインに取り組む、専門を学ぶための導入科目です。グループで学習を進めるとともに、他学部学生が聴講する教養系科目とのコラボレーションで市民目線の意見を聞き、ディスカッションする場面もあることが特長です。

3年生の「社会基盤プロジェクト・マネージメント」の授業では、それまで学んできた専門知識を総合し、社会基盤施設の整備事業推進における、調査・計画、設計、施工、維持管理のプロセスの一部を複数の演習課題を通して体験します。実務技術者の講義もあり、公共事業の流れやその中での土木技術者の役割や業務の全体像を具体的に知ることができます。



「社会基盤工学プロジェクトマネージメント」の演習の一コマ

■模擬講義

紅露一寛・教授（専門・応用力学）

8月6日（木）14：40～15：00／101 講義室

社会インフラの高度化における応用力学の役割

橋に代表される社会基盤構造物は、自然科学の最先端の研究者によって作り上げられた力学理論に基づいて設計されています。新しい構造材料の開発は力学理論の発展を後押しし、今日では計算機の積極的な活用を前提として、より高度な物理モデルの開発や、人工知能の活用も盛んに試みられています。

模擬講義では、最先端の研究成果を紹介しながら、応用力学研究の今と、私たちの暮らしを支える社会インフラの高度化における応用力学の役割について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

■イベント ー会場：212 講義室ー

社会基盤工学プログラムでは以下のイベントを企画しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。8月6日（木）と8月7日（金）の2日間とも同じ内容で実施し、随時自由に見学できます。

① 教育の概要と先端研究の紹介

社会基盤工学プログラムの教育内容のこと、卒業後の進路や就職先のこと、どのような専門分野があり、どのような研究をしているかについて、会場内のポスター展示で説明します。

また、会場には当プログラムの学生や教職員がいますので、教育研究はもちろん、学生生活全般に関する疑問があれば、ぜひ気軽に尋ねてください。雑談も歓迎です。

② 実験・演習の実演展示（予定）

- ・コンクリートの不思議を体験！
- ・橋のカタチとリキガク、教えます
- ・地盤の「液状化」を実験で再現！
- ・新潟沿岸域津波シミュレーション

③ 先達が地図に残してきた「もの」を紹介

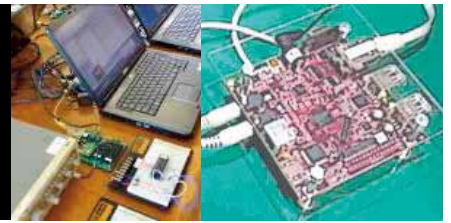
建設業は「地図に残る仕事」と言われています。私たちの先達が各地に築いてきた社会基盤施設・土木構造物の写真を、会場内のディスプレイにスライドショーで紹介します。



社会基盤工学プログラムホームページもご覧ください

<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~doboku/>

③電子情報通信プログラム



プログラム紹介

将来、どんな仕事に就いているかな？

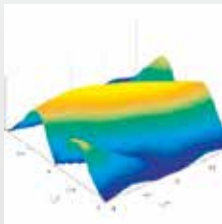
- 次世代を担う電力エネルギー技術の発展に貢献？
- 医療機器，環境に優しい車，超薄型TVを開発？
- 宇宙開発・産業を支える制御・計測装置を研究？
- スマートフォンを超える便利な通信端末を発明？

高度技術社会を支える
総合技術の取得を
目指そう！

研究紹介

通信システム分野

(信号・画像処理，無線通信，電波)



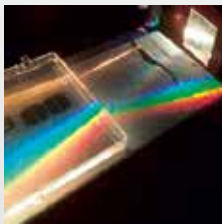
電子デバイス分野

(回路や光素子などの物性や材料の研究)



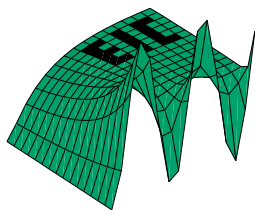
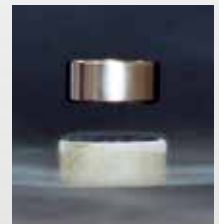
光エレクトロニクス分野

(物質の光学的特性の応用・光波応用計測)



電気エネルギー分野

(電気エネルギーの発生・伝達・利用)



- ▶学生実験の測定器，製作実習の作品に触れてみよう
- ▶高温超電導の公開実験，不思議な世界を体験しよう
- ▶アルキメデスポンプ揚水発電で電力を安定化しよう
- ▶有機薄膜を使った次世代の太陽光発電を体験しよう
- ▶デバイス作製に使われているプラズマを見てみよう
- ▶最先端ナノフォトニクス，分子で偏光を制御しよう
- ▶光エコー装置で指や生物の断層写真を撮ってみよう
- ▶音声信号や画像信号を電子回路で加工・解析しよう

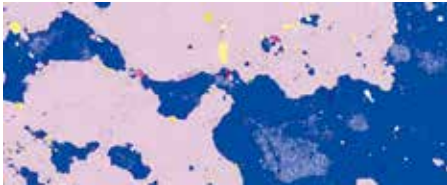
④知能情報システムプログラム



Web オープンキャンパス(常設)はこちらから↑

■プログラムブース / 各研究室の紹介【204 講義室】

コンピュータで生物の謎を解き明かす (阿部研)



人工知能を活用したゲノムビッグデータからの
知識発見手法とその活用事例の紹介します

動きやふるまいから人の状態を測る! (今村研)



生体行動計測や IoT を用いた動作計測の解説と
自動車運転のシミュレーション技術を紹介します

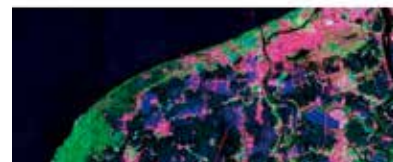
洋ナシの見た目の判定をする AI を公開します!

(山崎研)



新潟名産「ル レクチエ」
の等級を見た目から判定
するシステムプロトタイ
プをご覧ください

電波で宇宙から見た地球を観測 (山田研)



人工衛星や航空機から各地を観測したデータ
(合成開口レーダ画像) の応用事例を紹介します

模擬講義

齋藤 裕 先生による

「文章を計算する技術:テキストデータ解析のしくみ」は
1日目(8/6) 14時10分から 1階101講義室にて!



特別企画1

「情報ワールドへようこそ!」【205 講義室】



カメラや AI(人工知能), AR(拡張現実)の技術をつかったゲームを体験

ちょっとミライの技術
普段はできないコト
それ, 情報ワールドで
体感してみよう

最先端のプログラミングに挑戦



大学3年生の講義
(プログラミング AIII)
を先取り体験

関数型言語 SML#を使って,
絵やアニメを「立式」する
「命令しないプログラミング」を体験しよう

「聞く, 体験する, 知能情報」【213 講義室】



大学生活や卒業後の進路は?
入学した後にどうやって勉強する?

わからないことは
相談ブースできいてみよう

特別企画2

⑤化学システム工学プログラム



暮らしを豊かにする化学に貢献する人材

「エンジニアリングセンスをもった応用化学者」

「ケミカルマインドを持った化学技術者」を養成します。

【身につく力】

- 物質の本質を見極める力
- 化学を応用する創造力
- 夢を実現する化学技術

■ プログラムの特色

化学システム工学プログラムが受け持つ分野は、身の回りの化学製品はもちろんのこと、ナノテクノロジーや半導体などで必要とされる各種の材料、エネルギー資源、食品、医薬・化粧品、環境技術など多岐にわたっています！

■ プログラム紹介イベントルーム：工学部 206 講義室

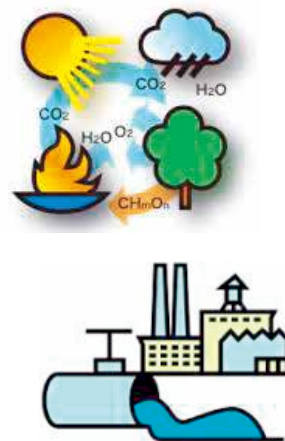
6・7日（木・金）10：30～12：00、14：00～16：00

① 「研究」紹介 & 「学生生活」相談コーナー

当プログラムで行われている
「研究」を、パネルや模型で、
研究室で実際に研究している
学生がやさしく説明します！

大学での「研究」や「学生
生活」のことなど、何でも気
軽に聞いてみよう！

10 研究室もの先端研究に触れられます♪
午前と午後で説明される内容が
異なるから何度か遊びに来てください！



② 展示物コーナー

実際の化学システム工学プログラムの授業で用いたものを
展示しています！

模擬講義では話きれない内容も含まれています。

例えば…

- ・ 燃料電池で水素を生成する装置で実際に水素を生成させたり
 - ・ 設計した蒸留塔のプラントの模型を見ながらプラントについて勉強したり
 - ・ 合成した蛍光物質が光る様子を観察したり
- …など、化学システム工学プログラムの授業の一部を
体験することができます。簡単な実験もできます！

ぜひ実際に覗いてみよう！



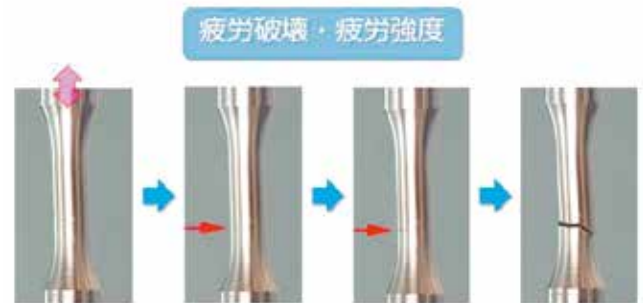
⑥材料科学プログラム



模擬授業 「新材料開発と材料強度 特性評価、どちらも大事！」

7(金) 14:10~14:30 101 講義室

材料科学プログラムにおいては、様々な新材料開発に関する研究とともに、材料物性・材料特性評価に関する研究も多く行われています。特に材料の強度特性評価は、材料の信頼性を保証し、事故やトラブルによって財産や人命が失われることを防ぐ観点から極めて重要です。本講義では、先進構造材料の開発状況、および材料の強度特性評価の意義についてお話しします。



疲労現象による金属の破壊

材料科学プログラムでは

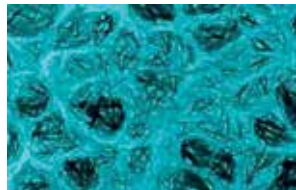
エネルギー・環境・情報・ライフサイエンス分野のさまざまな課題を解決するために、既成概念にとらわれず、環境にやさしい新素材・新材料の開発を行っています。物性物理と材料化学の視野を持って材料開発に貢献できる人材を育成します。

デモ実験

ゲルの芳香剤を作ろう！ 研究室ってどんなところだろう？ 三俣研究室

ゲルってなんだろう？芳香剤から香りがゆっくり拡散するのはどうしてだろう？実際に、ビーズやアロマオイル、高分子ゲルを使ってオリジナルの芳香剤を作りながら考えてみよう！

理科系学部の特徴である研究室生活について大学生に聞いてみよう！



太陽と水で走る未来を材料の力で実現する 坪井・村上研究室

太陽光発電(再生可能エネルギー)で水を分解してグリーン水素を作る。安全で高密度に水素貯蔵材へ【ためる】。目に見えない水素 H_2 の漏れを、高感度で【見つける】。地球の未来を左右するエネルギー材料の研究を私たちと一緒に始めてみませんか？



アルギン酸カプセルを使った冷却パックをつくってみよう

落合研究室

夏に活躍する冷却パックは、物質が水に溶けるときの吸熱反応を利用して作ることができます。本実験では、アルギン酸と乳酸カルシウムを使ってカプセルを作り、その中に閉じ込めた水を利用して、冷却のタイミングをコントロールできる冷却パック作りに挑戦してみましよう。



デモ実験 209講義室

6(木)・7(金)

10:30~12:00,
14:00~16:00

⑦建築学プログラム



都市計画・デザイン演習の発表



郊外における風と音の測定

■建築学プログラムの概要

建築学プログラムでは、人や自然環境との調和を目指し、工学技術、倫理、社会や芸術への関心など、幅広い知識を持った建築の専門家を養成します。建築学プログラムは建築材料・構造、建築環境工学、建築計画、都市計画分野で構成されています。



建築設計製図Ⅳの発表会

■模擬講義

「地震と建築」

中村 孝也 先生（専門：建築材料・構造）
8月7日（金）14：40～15：00／101 講義室

地震が起きるとなぜ建築物が壊れるのかを解説し、将来見込まれる大地震発生時の被害防止に備えた研究事例を紹介します。

■建築学プログラムイベント

会場：工学部棟 201 講義室

建築学プログラムでは次のイベントを企画しています。1日目（8月6日）・2日目（8月7日）とも同じ内容です。

① プログラム紹介

建築学プログラムのこと、4つの専門分野と履修科目と建築士資格について、会場内でポスターを使って随時説明します。

② 研究室の活動紹介

建築材料・構造、建築環境工学、建築計画、都市計画の研究室について、研究成果や活動を紹介します。

③ 建築学プログラムでの学生生活

建築学プログラムで学生生活を送った先輩が、4年間大学で学んだことや学生生活について質問にお答えします。

④ 設計製図課題の成果発表展

建築学プログラムでは、設計製図課題を通して、建築設計に必要な技術や知識を学びます。2026年度第1学期に3年生が取り組んだ設計製図課題の成果を展示します。

⑤ ドライミスト噴射実験

工学部棟の学生玄関前に建築環境工学研究室で製作したドライミスト噴射装置を設置します。濡れることなく涼しく感じられるしほさを説明します（雨天中止）。

⑥ 建築製図室・実験室・研究室見学ツアー

建築学プログラムでの学生生活において多くの時間を過ごす建築製図室と建築構造実験室の見学ツアーを開催します。

時間：1日目（8月6日）	10:30～11:00
	14:00～14:30
2日目（8月7日）	10:30～11:00
	15:20～15:50

集合場所：201 講義室前



施設見学（材木加工工場の見学）

■建築学プログラムHP

詳しい教育・研究内容等は、工学部工学科建築学プログラムのHPでご覧になれます。下記のURLあるいは二次元コードからアクセスして下さい。



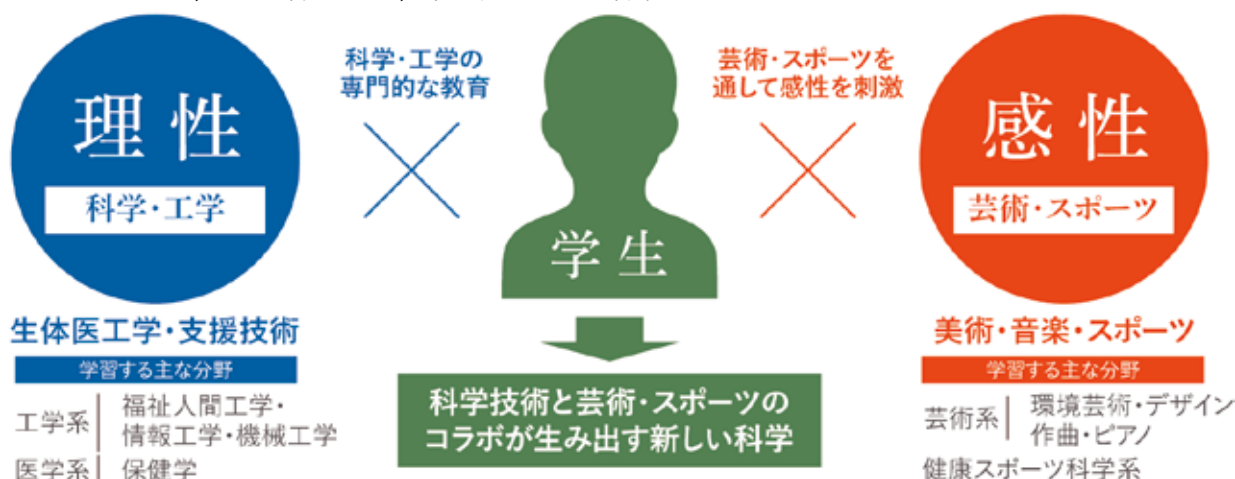
<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~kenchiku/index.html>

⑧人間支援感性科学プログラム



生体医工学，芸術，音楽，健康スポーツ科学が融合した新しい教育プログラムです。

すべての人の豊かで幸せな生活を支援する技術の開発，人の複雑な生命活動を生み出す体の仕組みを調べています。支援機器工学，生体医工学の知識や芸術表現・スポーツでの感性を身につけエンジニアとして，研究者として，社会のために活躍しませんか？



眼球動作計測



立体日本地図の触察



運転動作時の筋活動計測

●イベント展示＋進路相談ブース

場所：211 講義室（2 階）

展示物：工学と芸術が融合したメディアアート
障がい者支援機器，生体計測機器など

進路相談ブース：受験，カリキュラム，研究，就職など，プログラムに関する疑問に教員が答えます。

♪ ミニ・コンサート ♪

場所：工学部 101 講義室，時間：6 日・7 日とも 15:10～15:40

内容：演奏，および音楽と工学の融合の紹介

●模擬講義 6 日 11:40～12:00，101 講義室

“人間情報学から考えるデジタル社会”

講師：棚橋重仁・助教



演奏と連動した舞台演出装置



詳しくは人間支援感性科学プログラムのホームページをご覧ください。
<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~human/>



⑨協創経営プログラム



技術と地域・社会との橋渡しを担う実践力ある技術者の育成

■協創経営プログラムの特色

協創経営プログラムは、自然科学・工学と人文・社会科学の知見を組み合わせ、現代社会が抱える複雑な課題に対応できる力を育てる実践的な教育プログラムです。

文系・理系の枠を超えた視点から社会的課題に向き合い、工学技術の応用により解決策や新たな価値を社会と「協創」することで「ともに考え、ともに創る」人材を育成します。

このため、講義に加え、地域・企業との連携による課題解決型学習（PBL）や実習を通じて、チームでの共創力を身につけた即戦力となる実践的な人材を育成します。

■教育プログラム

○協創経営プログラムでは、工学と経営学をともに学び、複雑な社会課題を主体的に発見・解決する能力を育成していきます。このため、課題解決型学習（PBL）を通じて、地域や産業界と連携した教育を行っています。

○研究開発や就職や起業など、学生が自身の関心や将来のキャリアに応じて柔軟に学べるよう、工学部全体で開講されている工学分野の専門科目を「パッケージ」として大きくくり化して提供しています。多岐にわたる工学の専門分野の中から学ぶ科目を自ら選んで主体的にデザインしていくカリキュラムになっています。このため、プログラムや専門分野の枠にとらわれることなく、自らの意思に基づき自律的な科目選択・履修が可能になっています。

■模擬講義 尾田 雅文 教授

（8月7日（金）11:10～11:30）

「工学＋マネジメント＝効果的なプロジェクト運営」

新規の交通インフラ整備や宇宙開発など、世の中の注目を集める大型プロジェクトもありますが、この他にも、新製品開発のための研究開発や社内業務改善を目的とした、種々のプロジェクトが行われています。

効果的かつ効率的で、かつ、成功の確率を高めるプロジェクト運営のために、工学とマネジメントの双方の知識がどのように活用されているかについて、皆さんの日常生活を題材とした例に基づいて紹介します。

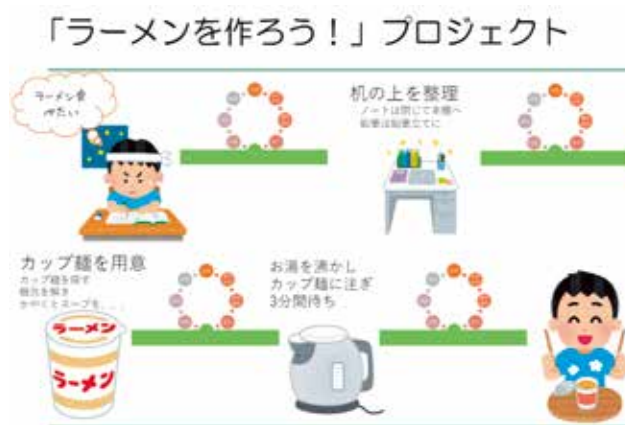


図 ラーメンを作る場合にプロジェクトマネジメントの手法を適用したらどうなるのか？

■研究紹介・展示 208 講義室

教育・研究と地域との連携活動の紹介

協創経営プログラムが開講している各科目の概要、卒業生の進路のほか、教員の研究活動や地域との連携・社会からの評価など、担当教員と在学生在が紹介します。

進路相談コーナー

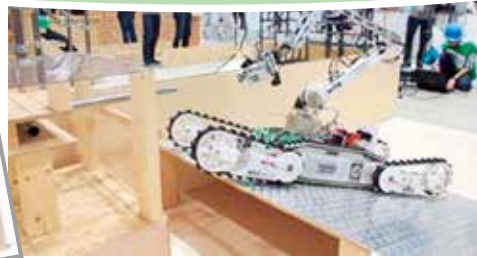
プログラム担当教員と現役学生が皆さんからの質問に随時答えます。

入試、学生生活、研究、将来の進路など、どのような疑問でも遠慮なく質問して下さい。

⑩工学力教育センター



工学部附属工学力教育センターは、全学の学生が履修できる特徴的な講義を開講しています。ものづくりを中心に行う「ものづくりプロジェクト」では、プログラムや学年に関係のないグループ活動を通して、高度なものづくりを行い、全国規模の大会などへの参加を積極的に行っています。



NHK
学生ロボコン
2026
ベスト4!!



ものづくりプロジェクトの紹介を
学生玄関ホールで行います。
ロボコンプロジェクトをはじめとする様々なプロジェクト
の製作物は **102 講義室**で展示します。



SDGs Design International
Awards 2024 で特別賞を
受賞しました!!



第一回「未来を拓くニッポン・アイデアコンテスト」で
審査員賞を受賞!!

工学力教育センターのもうひとつの講義である
「スマート・ドミトリー」は大学1～3年生を中心にプ
ログラム・学年を問わずグループを作り専門的な
研究にチャレンジしています。



スマート・ドミトリーの研究成果
202 講義室にて展示中!!

【新潟大学工学部 パンフレット】はここからCheck！

工学部案内，各プログラムのパンフレットを

PDFで掲載中！！



URL : https://www.eng.niigata-u.ac.jp/faculty_guidance/#pamphlet

【新潟大学工学部 入試情報】はここからCheck！



【総合型選抜】

出願期間 令和8年9月1日(火)～令和8年9月3日(木)

【学校推薦型選抜】

出願期間 令和8年11月2日(月)～令和8年11月5日(木)

【一般選抜（前期・後期）】

出願期間 令和9年1月25日(月)～令和9年2月3日(水)

URL : <https://www.eng.niigata-u.ac.jp/guide/admission/>

【動画で見る新潟大学 工学部】はここからCheck！

各学位プログラム紹介や工学力教育センター紹介，

模擬講義の動画等，多数掲載中！！



URL : https://www.niigata-u.ac.jp/university/pr/movie/about_faculty/engineering/



真の強さを学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

工学部

FACULTY OF ENGINEERING

新潟大学工学部

<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/>



〒950-2181

新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL : 025-262-6709

FAX : 025-262-7010

Email : gakumu@eng.niigata-u.ac.jp

$2F$

1 F

